

グループ討議	事前課題	特別な持ち物
×	×	電卓

決算書を活用した財務分析基礎講座

講座時間/受講料

10:00～16:30（1日間）／会員 1 名:21,450 円（税込）、一般 1 名:42,900 円（税込）

講師名

星田税務会計事務所 税理士 星田 直太 氏

対象

自社の決算書や税務申告書の基礎を理解して、会社の財務基盤強化に役立てたい方（入門者向け）

ねらい

- ・決算書は「会社の健康診断書」です。決算書を上手に活用し基本的な財務分析手法を知ること、資金の流れを可視化することで、会社の経営課題と次に打つ手が見えてきます。
- ・ワークを通じて、決算書や財務分析指標についての理解を深めることができます。
- ・税務申告書の基礎的な内容を知ること、会社決算と税務申告内容の相違点を把握し、税制を活かすことができます。

講座カリキュラム

- | | |
|---|---|
| 1. 会計の基礎
決算書に表示されている内容を理解するために必要となる、会計の基本的なルールについてお伝えします。 | 7. 経営分析指標の基本
基本的な経営分析指標をご紹介します。自社だけではなく他社の与信管理をする上でも知っておいて損はない情報です。 |
| 2. 貸借対照表と損益計算書の構造
重要な書類である貸借対照表と損益計算書に何が記載されているかを知ること、会社の現状把握に役立てることができます。 | 8. 資金繰り表の作成方法
会社の資金管理を行う上で欠かせないツールが資金繰り表です。金融機関からも求められることが多い資料なので、作成方法を理解しておきましょう。 |
| 3. キャッシュフロー計算書
キャッシュフロー計算書で会社資金の増減要因を可視化できます。キャッシュフロー計算書の簡単な作成方法もお伝えします。 | 9. 消費税の基礎と資金繰り
消費税は資金繰りに直接的な影響がある租税です。インボイス制度の基礎を含めた消費税の基礎をお伝えします。 |
| 4. 財務3表の関係性
貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書を財務三表といい、その繋がりを知ること、会社の資金が増加または減少する仕組みを理解することができます。 | 10. 会計上の利益と法人税法上の所得
決算書上の利益と法人税法上の課税所得は異なる概念です。法人税法上の課税所得とはどのようなものか、その基礎的な内容をお伝えします。 |
| 5. 損益分岐点分析
経営管理のなかで基本的なツールである損益分岐点分析について、事例を通してその手法をご紹介します。 | 11. 法人税申告書で押さえておくべきポイント
法人税申告書は書類が多く分かりにくいものなので、その基本的な構成と押さえておくべきポイントについてお伝えします。 |
| 6. 部門別損益管理
部門別に損益管理をすることは管理者責任の所在を明らかにすることにも繋がる等経営管理上有益ですので、事例を通してその手法をお伝えします。 | |